

ものづくり人材スキルアップ支援事業

自治体情報 石川県小松市

人口 / 108,134人 標準財政規模 / 24,543百万円

担当課 経済環境部商工労働課

電話番号 直通 0761-24-8074

実施主体 小松市

関連ホームページ <http://www.city.komatsu.lg.jp/shoukoushinkou/brand/monodukuri-skillup.html>

事業期間 平成21年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：800千円 (H24)

名称	所管	金額(千円)
産業人育成基金等	小松市	800

施策のポイント

ものづくり産業の市内中小企業の従業員が、生産現場での効率的な作業・管理手法を修得するために、地域の教育機関が行う社会人教育プログラムの受講費の一部を援助し、「ものづくりのまち小松」の産業人材の育成を促進する。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

小松市は、繊維産業や九谷焼や小松瓦などの伝統産業に始まり、建設機械や輸送機械、間仕切装備の製造等、かつてよりものづくりが盛んなまちである。

その中において、本市に位置する小松短期大学では、社会人を対象とした短期履修講座の一つとして「ものづくり人材スキルアッププログラム」を開講しており、教育機関を活用した市内中小企業の人材育成に、官学をあげて取り組んでいる。

2. 取組の具体的内容

本教育プログラムは、主として製造現場の若手から中堅までの従業員を対象に、現場主任スキルとして必要な生産管理技術や工場経営管理の修得、安全管理に関する資格取得を目指すものであり、約4ヶ月間（前期5月、後期10月開講）の講習期間のうち、週3日間短大施設にて開講される。

隔日開催のため、受講生は勤務の合間を縫ってスキル修得を目指すことができる。また平成24年度からは、科目選択が可能となり、派遣元の企業が必要とするスキルのみ受講できるようになった。

その上で本市施策では、本市中小企業の派遣について、その費用の最大4分の1を補助することにより、社内教育（OJT）が十分実施できない事業者の人材育成機会を確保する役割を果たしている。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

本市では、団塊世代の大量退職による技術継承課題等、社会変化への即応を大きな課題とする中小企業を下支えするための施策を模索していた。また短大においても、学外連携や教育プログラムの見直し等を重要課題として認識していた。

そのような中で、本市の産業振興方針や教育・訓練機関の存在等の諸条件が合致し、本施策を実施することとなった。

4. 現在までの実績・成果

平成21年より本支援事業を開始し、平成24年度前期コース修了までに、延べ19社、25名が支援対象となった。

修了生は、向上心を持って各企業の現場チーフとして活躍しており、派遣元は、将来の中核的人材として期待を寄せている。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

平成21年度から平成23年度にかけては、一般財源を充当していたが、同年に「産業人育成基金」を設置して、地域・産業活性化のため人材育成に力を注ぐこととし、本市戦略の一環として、本施策も位置づけることとなった。

よって、平成24年度は予算全額を基金とその運用利子を充てて施策を実施している。

6. 今後の課題と展開

人材育成は、企業の経営力強化の有効な一手段である。そこで、市広報誌や企業訪問等を通じ施策紹介や派遣企業の声を伝え、その価値をより多くの事業者に認めていただけるよう、一層の周知・普及活動に努めていきたい。

また、基金を活用しながら、今後は経営幹部や革新的人材等の育成にも取り組み、総合的な人材支援パッケージを構築して「ものづくりのまち」の成長を支えていきたい。